

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 1 年 10 月 17 日 (2019.10.17)

【公表番号】特表 2018-531767 (P2018-531767A)
 【公表日】平成 30 年 11 月 1 日 (2018.11.1)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-042
 【出願番号】特願 2018-530983 (P2018-530983)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 B 1/12 (2006.01)

G 0 2 B 23/24 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 6 5 0

A 6 1 B 1/12 5 3 0

G 0 2 B 23/24 A

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 3 日 (2019.9.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

内視鏡検査用の内視鏡を準備する装置であって、前記装置は、

前記内視鏡の遠位端をそこに受け入れるために必要な大きさにされる保護シュラウドであって、前記遠位端は、それを通してビューポートの周囲の画像を収集することを可能にするように構成される前記ビューポートを備える、保護シュラウドと、

電源に電氣的に結合して、前記保護シュラウドで囲まれる前記内視鏡の遠位端をそこに受け入れるように構成されるスロットを有するプラズマ発生界アプリケーションであって、前記プラズマ発生界アプリケーションは、前記保護シュラウド内のプラズマ発生に適している電力を印加するように構成される、プラズマ発生界アプリケーションと、を備え、

前記保護シュラウドは、前記内視鏡の遠位端から、そして前記プラズマ発生界アプリケーションから着脱可能である、装置。

【請求項 2】

前記ビューポートは透明である、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記ビューポートは鏡である、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

その第 1 の端部に前記プラズマ発生界アプリケーションを無菌性スリーブに挿入することを可能にするように構成される第 1 の開口部、およびその第 2 の端部に前記内視鏡を前記プラズマ発生界アプリケーションに挿入することを可能にするように構成される第 2 の開口部を有する、前記プラズマ発生界アプリケーションをカプセル化するように構成される、前記第 1 と前記第 2 の端部の間に伸びる前記無菌性スリーブを更に備える、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

前記無菌性スリーブは柔らかい、請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

前記保護シュラウドは、少なくとも一つの電極と、前記電極に電氣的に接続して、前記保護シュラウドが前記スロットに挿入されるときに前記プラズマ発生電界アプリケーションの対応する第 1 のアプリケーション電気接点と電氣的に接触するように構成される第 1 のシュラウド電気接点とを備え、前記少なくとも一つの電極は、それによって前記電力を前記プラズマ発生界アプリケーションから受け取ると、前記保護シュラウド内でプラズマ発生界を印加するように構成される、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 7】

前記保護シュラウドは、前記内視鏡の遠位端が前記保護シュラウド内に受け入れられるときに前記内視鏡と接触するように構成される第 2 のシュラウド電気接点を更に備え、前記第 2 のシュラウド電気接点は、前記保護シュラウドが前記スロットに挿入されるときに第 2 のアプリケーション電気接点と電氣的に接触するように構成される、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】

前記保護シュラウドは、前記内視鏡の遠位端を受け入れるように構成される開口部と、前記保護シュラウドのシュラウド遠位端との間に伸びる中空管を更に備える、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 9】

前記中空管は中空円筒体である、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 10】

前記保護シュラウドは、前記内視鏡を囲むために必要な大きさにされて、それによって前記内視鏡が前記中空管内に受け入れられるときに前記内視鏡と密封して接触するように構成される、前記中空管の内周に沿って前記開口部と前記シュラウド遠位端の間に配置されるシールを更に備える、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 11】

前記シールは O リングを含む、請求項 10 に記載の装置。

【請求項 12】

前記プラズマ発生界アプリケーションは、前記スロットに制御可能に流動的に連結するホースを備える、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 13】

前記プラズマ発生界アプリケーションは、前記ホースと前記スロットを制御可能に流動的に連結する制御弁を備える、請求項 12 に記載の装置。

【請求項 14】

前記プラズマ発生界アプリケーションは、前記ホースに流動的に連結したアプリケーション・ガス・ポートを備え、そして前記保護シュラウドは、前記ホースを前記保護シュラウドの内部に流動的に連結するために前記アプリケーション・ガス・ポートに密封して連結するように、そして前記保護シュラウドが前記スロットに挿入されるときに前記ホースと前記スロットの間の流体連通を密封して防止するように構成されるシュラウド・ガス・ポートを備える、請求項 12 に記載の装置。

【請求項 15】

前記保護シュラウドは、前記内視鏡の遠位端が前記中空管に挿入されるときに前記内視鏡と密封して接触するように構成されるシールを前記中空管内に備え、そして前記中空管を横切って、それによって密封スクリーンと前記シュラウド遠位端の間に閉じた密封空間を画成するように構成される前記密封スクリーンを更に備える、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 16】

前記保護シュラウドは、前記シールと前記密封スクリーンの間において前記中空管内に配置されて、前記内視鏡を前記中空管へ挿入すると、前記気密シールを引き裂くように構成されるテリアを更に備える、請求項 15 に記載の装置。

【請求項 17】

内視鏡検査用の内視鏡を準備する方法であって、前記方法は、

前記内視鏡の遠位端をそこに受け入れるために必要な大きさにされる保護シュラウドを提供することであって、前記遠位端は、そこを通るビューポートの周囲の画像を収集することを可能にするように構成される前記ビューポートを備え、前記保護シュラウドは前記遠位端から着脱可能であることと、

電源に電氣的に結合して、前記保護シュラウドで囲まれる前記内視鏡の遠位端をそこに受け入れるように構成されるスロットを有するプラズマ発生界アプリケーションを提供することであって、前記保護シュラウドは、前記プラズマ発生界アプリケーションから着脱可能であり、前記プラズマ発生界アプリケーションは、前記保護シュラウド内のプラズマ発生に適している電力を印加するように構成されることと、

前記保護シュラウドで囲まれる前記内視鏡の遠位端を前記プラズマ発生界アプリケーションのスロットに配置することと、

前記電源を起動させて、前記保護シュラウド内でプラズマを発生させ、それによって前記遠位端のビューポートをプラズマ処理することと、
を含む、方法。

【請求項 18】

前記保護シュラウドによって、前記遠位端に分散した流体による前記プラズマ発生界アプリケーションの汚染を防止することを更に含む、請求項 17 に記載の方法。

【請求項 19】

前記プラズマ生成界アプリケーションはホースを備え、そして前記方法は、前記保護シュラウドの内部にガスを制御可能に流入させることまたは前記ホースを通して前記保護シュラウドの内部からポンプで汲み出すことを更に含む、請求項 17 に記載の方法。

专利名称(译)	<无法获取翻译>		
公开(公告)号	JP2018531767A5	公开(公告)日	2019-10-17
申请号	JP2018530983	申请日	2016-09-07
[标]发明人	サギブアダム マラーミシエル ラムアモン		
发明人	サギブ,アダム マラー,ミシエル ラム,アモン		
IPC分类号	A61B1/00 A61B1/12 G02B23/24		
CPC分类号	A61B1/127 G02B27/0006 H05H1/2406 H05H2001/2412 H05H2245/122 G02B1/18 A61B1/253		
FI分类号	A61B1/00.650 A61B1/12.530 G02B23/24.A		
F-TERM分类号	2H040/CA22 2H040/DA13 2H040/EA00 4C161/AA07 4C161/AA15 4C161/AA24 4C161/FF38 4C161/GG11		
代理人(译)	Iwahori明代		
优先权	62/215061 2015-09-07 US		
其他公开文献	JP6678744B2 JP2018531767A		

摘要(译)

提供了在医疗程序之前或期间防止医疗设备的视口中起雾的方法，以及相关的装置和设备。该方法涉及在使用之前将等离子体施加到视口，从而使视口的表面高度亲水。该方法消除或至少显著减少了雾霾引起的模糊。[选型图]图1A